



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4082 URL <http://www.dkkk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 児嶋 昭人 TEL 06-6682-1261
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,760	—	2,050	—	2,134	—	1,464	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,431百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	302.79	—
26年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第2四半期の数値については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	24,761	14,604	57.9	2,964.02
26年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 14,332百万円 26年3月期 ー百万円

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	—	3,550	—	3,600	—	2,600	—	537.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	4,880,000株	26年3月期	4,880,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	44,676株	26年3月期	44,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	4,835,324株	26年3月期2Q	4,816,390株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)における世界経済は、先進国において、米国と欧州の一部では回復基調にあるもののその他の地域では停滞、新興国市場では低調な伸びとなっています。日本経済については、4月から6月にかけて消費税増税の影響による後退、円安による輸入材の価格高騰など懸念材料はありますが、企業収益や雇用環境の改善などにより、緩やかな回復が続いています。

当社グループの主要顧客であります自動車業界は、国内では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長期化していますが、北米地域をはじめ中国を中心とするアジア地域、中南米地域、中東アフリカ地域の生産、販売台数は増加傾向にあり、引き続き堅調に推移しました。それらの影響により、当社製品の販売数量も堅調に推移しました。

主要原料の一つであるレアアースに関しましては、中国によるレアアースなど鉱物資源の輸出制限問題について、世界貿易機関(WTO)の紛争処理上級委員会が日米欧の提訴内容をほぼ全面的に認める最終報告書を公表したことや、中国以外の生産・出荷が再開されはじめたことなどにより、価格は緩やかな下落傾向が続いております。

このような状況のもと当社グループは、積極的な販売活動、新製品開発や新規事業の開拓、コスト削減などに努め、売上および利益の増大に注力しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高11,760百万円、営業利益2,050百万円、経常利益2,134百万円、四半期純利益1,464百万円となりました。

なお、平成27年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は24,761百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金4,502百万円、現金及び預金3,687百万円、有形固定資産7,253百万円であります。

負債につきましては、10,156百万円となりました。主な内訳は、長期借入金2,993百万円、1年内返済予定の長期借入金2,254百万円、短期借入金2,200百万円であります。

純資産につきましては、14,604百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金12,149百万円であります。

なお、平成27年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、平成26年8月7日付「平成27年3月期 第1四半期決算短信」にて公表しました平成27年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳しくは、平成26年10月27日公表の「平成27年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成27年3月期第1四半期連結会計期間より、Vietnam Rare Elements Chemical Joint Stock Company及び徳華(上海)貿易有限公司の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間において、山東広垠迪凱凱環保科技有限公司及び山東広垠迪凱凱新材料有限公司を新たに設立し、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

当社は、「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて平成27年3月期第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、平成27年3月期第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、平成27年3月期第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が9,010千円増加し、退職給付に係る負債が114,086千円減少するとともに、利益剰余金が111,766千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,687,996
受取手形及び売掛金	4,502,271
有価証券	700,000
製品	2,246,726
仕掛品	1,554,012
原材料及び貯蔵品	1,904,452
繰延税金資産	239,888
その他	1,103,437
流動資産合計	15,938,786
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	2,192,496
機械装置及び運搬具(純額)	2,194,190
土地	1,484,243
その他(純額)	1,382,694
有形固定資産合計	7,253,625
無形固定資産	176,320
投資その他の資産	1,392,390
固定資産合計	8,822,336
資産合計	24,761,122
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,184,759
短期借入金	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,254,832
未払法人税等	447,506
賞与引当金	372,318
その他	505,885
流動負債合計	6,965,300
固定負債	
長期借入金	2,993,812
退職給付に係る負債	477
資産除去債務	32,571
その他	164,012
固定負債合計	3,190,873
負債合計	10,156,174
純資産の部	
株主資本	
資本金	787,100
資本剰余金	1,216,649
利益剰余金	12,149,752
自己株式	△82,904
株主資本合計	14,070,597
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	159,121
為替換算調整勘定	100,861
退職給付に係る調整累計額	1,425
その他の包括利益累計額合計	261,409
少数株主持分	272,940
純資産合計	14,604,948
負債純資産合計	24,761,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,760,796
売上原価	8,412,596
売上総利益	3,348,199
販売費及び一般管理費	1,298,022
営業利益	2,050,176
営業外収益	
受取利息	6,199
受取配当金	5,652
為替差益	78,985
その他	23,368
営業外収益合計	114,206
営業外費用	
支払利息	29,296
その他	447
営業外費用合計	29,743
経常利益	2,134,639
特別利益	
持分変動利益	99,383
特別利益合計	99,383
特別損失	
固定資産除却損	92
特別損失合計	92
税金等調整前四半期純利益	2,233,930
法人税、住民税及び事業税	427,657
法人税等調整額	364,469
法人税等合計	792,126
少数株主損益調整前四半期純利益	1,441,804
少数株主損失(△)	△22,263
四半期純利益	1,464,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,441,804
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	37,405
為替換算調整勘定	△37,665
退職給付に係る調整額	△9,902
その他の包括利益合計	△10,163
四半期包括利益	1,431,641
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,468,315
少数株主に係る四半期包括利益	△36,674

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,233,930
減価償却費	511,561
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,371
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,485
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△19,878
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	106
受取利息及び受取配当金	△11,852
支払利息	29,296
為替差損益(△は益)	△30,048
持分変動損益(△は益)	△99,383
売上債権の増減額(△は増加)	△420,814
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,202,628
未払又は未収消費税等の増減額	△204,918
仕入債務の増減額(△は減少)	240,885
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△38,636
その他	211,062
小計	1,205,569
利息及び配当金の受取額	11,852
利息の支払額	△43,675
法人税等の支払額	△170,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,003,061
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△788,456
無形固定資産の取得による支出	△89,846
長期前払費用の取得による支出	△85
投資有価証券の取得による支出	△1,249
関係会社出資金の払込による支出	△297,936
貸付けによる支出	△9,000
貸付金の回収による収入	2,625
その他	△1,943
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,185,891
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,600,000
短期借入金の返済による支出	△200,000
長期借入れによる収入	716,229
長期借入金の返済による支出	△2,397,416
社債の償還による支出	△3,300,000
配当金の支払額	△72,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,653,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,287
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,822,234
現金及び現金同等物の期首残高	8,210,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,387,996

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。